



俱知安村停車場前角長印旅館

▲取扱丁寧
▲食料新鮮

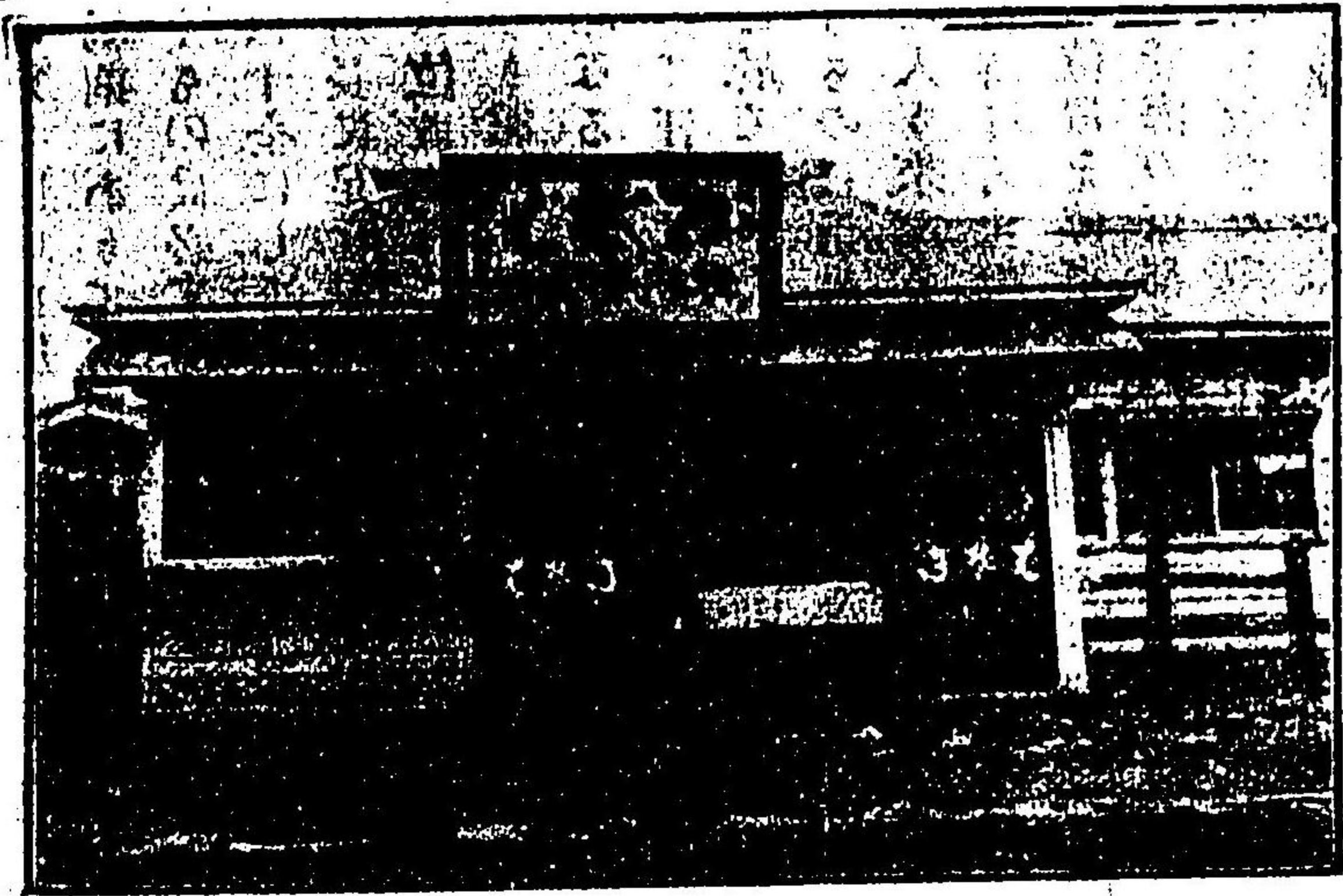
長 旅館 堀口熊藏

俱知安村停車場前

●角長印堀口旅館 俱知安に於ける一流の旅館を以て廣く知られたる者なり同旅館は停車場前にありて朝日ホテルと相對應する旅館なりとす紳商となく紳士となく俱知安に村を引くものは必ず宿泊せざるはなし旅客の待遇は頗る厚く親切丁寧にして加ふるに旅館としては十全にして茶器の端に至たる迄意を用へざる處なく眞箇好固の旅館なり故に客は進んで角長に足を向けて茲に宿泊する所以にして日に隆盛を來たし富みを作る所以なり其停車場に位置すれば便利にして萬事に都合あはれは待遇の宜しきと相應して眷顧を厚ふる所以あり館主は堀口熊藏氏にして元新潟縣佐渡郡新穂村大字瓜生屋に生れし人なり性亦溫篤純和なる人物事に耐忍力ありて人と座談するにも決して圓滿を欠かず能く事物に審しく要を得て迂遠ならず蓋し旅館經營の如きは其事天格なるへきかり去る三十一年渡道し古平村に於て三十六年迄某運送店に勤績し情々北海道の事情を窺知せるに旅館の一帶にそれらしきものに乏しきに依り前途の光明尙ほ是れに依るも亦一興なりと臆を堅め決意一番俱知安に入り來たるは三十七年の三月内地は兎に角未だ北海道は降雪期にして雪紛々の頃なりき當時は舊北鐵線が將に近かく汽罐を炊くの頃なりしかは乗客降客兩者の便を歡慮して旅館の位置を停車場前に撰定して營業を開始せり爾來今日に及へり氏か遠識の的中する處となり北海の京都を以て目さるゝ俱知安に第一流の名聲を爲すに至られり館主は尙ほ二六時中専ら改進々歩に伴はんと思心怠らざるものあり。

俱知安村

三百十五



所合待山青 内構場車停安知俱

三百十六

- 生そば西洋料理
- 會席料理仕出し

俱知安停車場前

三吉屋青山待合所

- 生そば ○御辨當 ○すし
- 天ぷらめし ○牛めし ○和料理各種
- 洋食類 ○カレー ○コーヒ
- 牛乳 ○食パン ○御茶土瓶付
- 麥酒 ○正宗類

俱知安驛構内

三吉屋

○野田追驛 支店

支店も本店同様
御引立願ひます

●三吉屋青山待合所 俱知安驛に於て生蕎麥を商ふて鐵道旅客の手持ち無沙汰を慰めつゝあるは是れ即ち青山待合所のやり振り也卅七年以來舊北鐵線の時代より旅客の空腹を満たし其旅費を慰め旅客をして早く俱知安驛に至たらん事を思はしめ焦心亦禁せしめさるも青山待合所の力なり以來一倍の景響を添はしたるも亦是れか爲めならずんはあらず殊に停車場前に待合所を設けて會席料理仕出西洋料理生蕎麥等の料理を爲して乗下車の旅客の便を計りつゝあるも青山待合所なり四十年二月より野田追驛に特設して本店同様の商ひ振りを爲して旅客の便益を計りつゝあるも又青山待合の支店に外ならず特に其蕎麥の美味は車掌か其驛名を呼び旅客に知らしむ前早くも香風を傳ひしめて野田追驛なりと俱知安驛なるを知らしむる程なり直段も亦頗る安直なるは旅客の財布を減せざる所以も青山待合所の爲めなり冷たき宵残りの飯辨當を購ひ食ふよりは遙かに勝されるものあり依て衛生を安全爲らしむる功あるも此青山待合所あるか爲めなり鶴功を論及すれば夥多にして易容の業にはあらず今日本店も支店も好景を呈し大繁昌を極め鐵道の破滅の時石橋の腐れる其れ迄は青山待合所の得意なるへし主人公は秋田縣秋田市久保田の人明治九年札幌に渡り後ち空知郡瀧川村に居住し三十七年俱知安停車場前に來たり思ひを茲に致したるものにして卅八年一月より停車場構内に於て生そばを賣りプラットホームに呼び賣りを初めたるは舊北鐵線に於ての呼賣の元祖なり。

俱知安村

三百十七

●米穀 荒物
●農産 賣買 商



君松三與村中 村安知俱

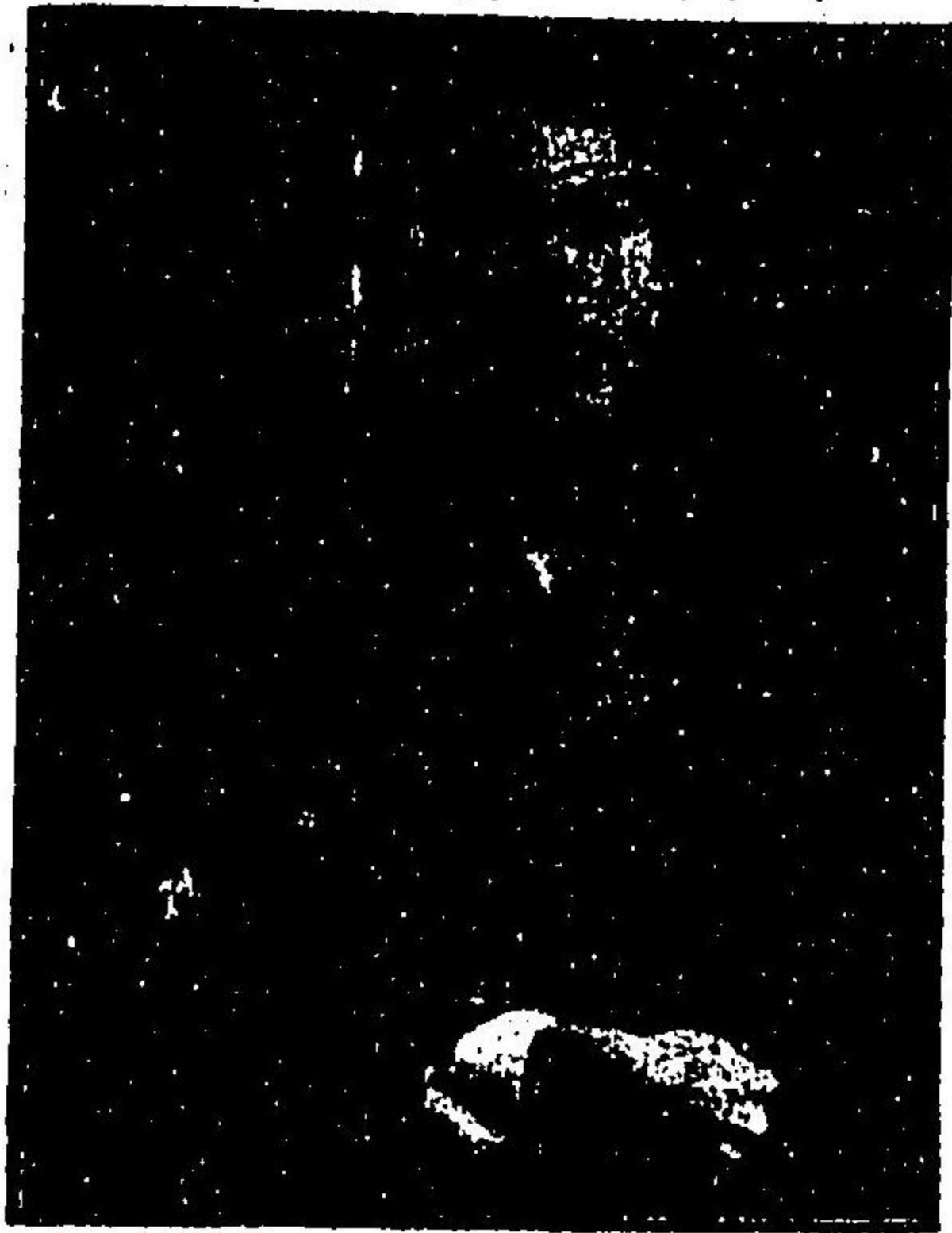
中村商店

此田郡俱知安村

三月十八

●山中印中村商店 俱知安村六號線にあり中村與三松氏の經營に係るものなり同氏は明治十年加賀國石川郡上金石町に生れたる人にして卅四年函館へ上陸し後ち卅六年現住に來たりて米穀、荒物、雜貨、農産物の賣買を營みしか商算百發百中して方今の成功を遂げられしも豈是れ只た一朝夕にあらず氏か業に熱心と誠實なると勤勉なるとに依りし賜ものならざるはなし氏は幼にして商業に志あり長して北海道に望を屬して飛來し隆盛を致たせるも氏の達識の非凡なるを推知するに難からず俱知安に處して以來も徳常に四圍を風靡して商徳上の模範を垂れしのみならず常に公共を忘れず一致以て俱知安の發展を期しつゝあり土着の信用厚き顧客の一大最負あるは六號線中の商家には蓋し稀れなるへし

●米穀 荒物
●農産 賣買 商



氏吉駒田村 村安知俱

村田商店

俱知安村

俱知安村

●九さ印村田商店 俱知安市街地に軒を比べ米穀、雜貨、荒物、農産を商ふ商店ありと雖も丸さ印の商店に出するものは幾多とあらざるへし斯業界には一般の勢力を有して時價低騰一に標準店なりとす取引の確實なる基礎の強固なるとは愛顧を厚ふして盛況に赴く所以なり店主は村田駒吉氏と謂ひ加賀の國の産商人格を有し經營と營業振とを論せず奇抜活躍的にして世流に伴ふ是れ商腕の術ある所以なり蓋し氏は俱知安中の商人にあらずして實敷時世的の商人なりとす商徳の高き事海上幾千丈なり是れ日に進み月に歩して聊かも停滯せず資本の運行を純和ならしめ店頭萬品を羅列して直ちに顧客の求めに應せらるゝ所以にして益々大々的に繁昌する所以なり

三百十九

●九キ印星野支店 俱知安を知る人にして誰か支店を知らざるものなく支店を知る人にして亦店主村井權八氏を知らざるはなし店頭は呉服、太物、洋反物、和洋小間物等を商ふて名聲あるのみならず亦一大商舖として且つ同氏は第一流の人物として噴々たるものなり商道に精通なるのみならず又宜敷俱知安開發の公共に熱心にして常に心粹せらるれば亦支店を開設せられたるは明治三十七年六月にして卅九年消防創立の當時より組頭等の樞職に在り爲す事皆公共に及はざる事なし村民の敬虔するは蓋し素ありと云ふへし氏は盛岡の人人と成り衆を統ふるの才あり學あり風姿又大に凜として擧げられる在り社交頗る圓満にして妄りに叫はしめず家業に熱心にして甚だ顧客に親切なれば眷顧厚く店頭黎明より佳客群を爲して其光榮頗る繁昌なり。

●丸上印林商店 俱知安村決して狭からずと雖も六號線の林商店を知らざるはなし獨り呉服、太物商を經營するのみならず店主林氏は實に又た公共の人にして宜敷經世家なればなり氏は滋賀縣近江國犬上郡東甲良村宇北落の郷に生れたる人にして明治廿五年初めて小樽に移住し其業を繼ぎて暖簾丸上を認めかして方今の成功を遂けたるなり以來俱知安の發展に伴ひ村制施行とあり撰はれて學務員とあり學業發達に勤め啓發する處決して少なからず三十九年商店の擴張を東俱知安に計り支店を設け次て眞宗信徒生命保險會社代理を兼ね洋反物等を商ふて盛大益々隆昌を來たせり俱知安第一流の人物として敬愛せらるゝに至られたり

●大三印武廣商店 俱知安の運送業界に鳴るものは武井某、廣瀬某の合名會社ありとす停車場前に位置し頗る便利なり故に貨物の取扱に店員終日寸暇なき隆盛なり而して取引先きの廣き亦此商社の右に出するものなき信用の厚き亦然かりとす加之基礎の確實なるは其模範なりとす運送業の實を擧げて斯界に冠たるものなり。

●抱山キ印伊井商店 俱知安に於ける雜穀商の唯一なるものは即ち同店にして店主は奥右衛門氏にして越後の人三十一年岩内に移り三十八年俱知安に移住したり。

●交山六印須川商店 俱知安村の米穀、荒物商中亦有數なる商店なり店主は佐渡の人六藏氏と云二十九余年市に渡り三十六年移轉せり頗る盛大に營業を爲しつゝあり。

●丸加印加藤榮之丞君 俱知安村に知らる請負業者なり氏は文久二年宮城縣黒川郡吉岡町に生る、明治二十八年江州村に渡り土木建築請負業を爲し三十七年俱知安村より喜茂別及留壽都街道の開鑿請負の爲め俱知安に居を移し爾來此處に轉籍して其業を益々擴張せり請負業者中に於て確實實直を以て知らる。

●山十一印能登出張店 俱知安村に於て石見專吉氏が主任として經營する能登出張店即ち米穀、和洋酒、鹽、雜貨商を知らざるものなし同出張店は三十七年岩内港の山十一印の出張店として俱知安に特設せられしものにして敏腕の石見氏之れが主任たり商策の巧なる活躍せる商振は頗る注目に價す其盛大名状すべからず。

●九八印名畑今物店 俱知安に於て金物農具肥料商の大王なり店主は新潟縣佐渡郡藤野村

俱知安村

宇竹田に明治七年を以て生る三十一年岩内港に渡り三十三年茲に移住し翌三十四年より斯業を爲す店主は亦村會議員の公職に在りて壯々の名あり比年店舗の擴張を計ると共に繁盛となり取引の確實を以て知らる。

●大一印島田商店 俱知安村の商家中の商家なり鮮魚、鹽物、干物、洋酒、漬物一切を商ふて知らる取引確實にして夙に名あり規模甚大にして類を見ず實に同村字六號線の商店中の冠たり店主大島氏は明治元年の人郷は加賀國能美郡本織町に在り明治廿八年小樽に渡り北見地方の視察を終りて三十年現地に居住せられたるものなり。

●山十一印小森商店 俱知安停車場前に米穀、荒物、和洋酒を商ふ位置甚大形勝加ふるに店頭賑かなる此地亦有數の店舗なり此商店は小森與三松氏の經營にして三十八年八月岩内港より支店を設けしものにして店主は商通の人亦其た商徳を重鎮とすれば常に繁昌せり
●金ア印阿部商店 俱知安に於ける木材請負業者中の壯々たる名買あり阿部胞衣七氏の經營する處にして明治元年生宮城縣の人三十七年札幌より現地に移住せり。

●金イ印長岡商店 俱知安村の呉服、太物、洋太物、和洋小間物商の壯々たるもの店主三平氏は新潟の人三十年札幌に來たり上川郡美瑛に五ヶ年同業を營み三十九年移住せり。
●九一印清月堂待合所富士餅と謂ひは俱知安を換起せざるを得ず是れ名物の一なればなり俱知安驛にて此名物を呼賣せしむるは驛前の清月堂待合にして此待合亦頗る公衆の便を計る小林金吾氏の經營に成る氏は元越後の人三十九年岩内より移轉して菓子業を營みしも後

膽 振 要 覽

待合を特設して蝦夷富士餅饅頭かき餅等を商ふに至れり。

●山三印栃木商店 俱知安村に於て山三印の米穀、荒物、雜貨、農産商店を知らざるものなし店主清作氏は高山縣の人二十九年小樽に渡り三十七年現地に營業したるものあり。

●曲キ印菊池鐵工場 同店は俱知安村中樞の地に鐵工場を設け専ら農具器械類を製作す店主菊池專之介氏は秋田の生れにして明治二十四年岩内港に於て同業を營みつゝありしか俱知安の開拓せらるゝと共に將來の發展を期待し二十八年より同所に移りて鐵工場を開始し日増に盛大の域に進みつゝありと實に氏は先見の明ありと云ふべきなり。

●丸ヨ印醬油販賣店 俱知安に此商店あるは能く人の知る所なり本店は小樽驛の丸ヨ印の醸造に係るものを商ふ支店なればなり普く徳用を以て名聲噴々たり。

●近江屋吳服店 俱知安村の舊商なり店頭吳服、太物洋反物を陳列して何品にても顧客の求めに應ず店主は高橋元次郎氏にして明治三年近江國犬上郡東甲良村に生る二十三年小樽に來たる三十六年現地に移轉し斯業を開始せり飛切の大々的勉強は暖簾の本能にして誠實確實は其主義なり故に愛顧日に増加して隆盛言はん方なし。

●小野塚要七君 俱知安村に於て只に土木建築請負業を以て指を屈せらる君にあらすして現時壯々たる村會議員として嘖々たり今は亦商法の人にあらずして寧ろ俱知安村の人と云はざるを得ず然かり有力者なり敏腕家なり明敏なり聰賢なり君の木材業に關して一言せんとせば以て甚た手廣しと云ふの外なく既に木材業の如き事業にして手廣く經營するを得る

俱知安村

膽 振 要 覽

か如き人は蓋し君の如きの量度を要すべく是れ決して餘人の似だに出來さる所須らく形勢を見破するの卓識活眼を有せされは不能なればなり感敬を拂はさるへかす是れ一面に信用と財を有する所以なるへし君か村會議員に擧げられたる所以は其才能を自治活動に應用せしめんとしたる俱知安民の奥惱にあらずんはあらず君の大活動こそ今後尙一層注目に値するものあり。

●角上印井上商店 俱知安村に現住する幾多進軒の荒物商中頭指に數ふべきもの數多ありと雖も就中最たるものは同店と云ふも他に憚かる事はあらざるへし加之店舗は尙は農産物の賣買を爲すを以て知名あり井上駒三郎氏の拉腕を振ふて經營十年の長日月能く一日の如く倦怠せざる處のものあれば好評厚さのみならず頗る最負厚く顧客の店頭市を爲して至極大繁盛を盡しつゝあるよりするも過賞にあらざるを信す氏は新潟縣北浦原郡葛塚町に慶應二年を以て生る家系は累代木綿織業を以て業とせり常に家名の高きものなりしと而して氏か現住に移住し來たるは明治三十一年にして現業を開店したる次第にして爾來好運湧か如く隆盛に向ひ今日の成功を來たせるなり。

●丸三印富士屋伊藤商店 俱知安基線九號に於て株式會社北海道貯蓄銀行岩内支店俱知安代理店並に銘茶、陶磁器、洋燈、小間物、紙類、文房具、玩具及雜貨商を以て不夜城と唄はるゝのみならず實力新京都に冠たるものは伊藤松實氏の經營する同店なりとす其景況を名狀するに繁盛、隆盛に大の字を加頭せされは能く表示したるものと云ふを得ず巷間既に

要 振 磨

業に定評の壯々噴々として餘蘊なければ茲に贅せず茲に廣く公衆に告知せんとするは同氏か俱知安村字ニセコアンに於て原線にありて攝氏三十八度を有する一大鐵泉を發見したるもの是れなり未だ經營に着手せざるも早晚庶衆の爲めに或は温泉場とし或は内服の好劑として公表せらるゝものなれば要覽には先鞭之れか梗概を覗かんとす。

▲鐵泉の所在地及比重 此田郡俱知安村字ニセコアンに在り而して水色は無色透明且つ無臭の液体にして微に鹹味を覺へ弱酸性の反應を呈するも煮沸後に弱アルカリ性に變ず比重は攝氏十三度に於て一、〇〇二を示めず本品壹千瓦爾謨中含む所の成分量は左の如し

- | | | | |
|-----------|-------|-----------|-------|
| 一、固形物総量 | 二、二三五 | 一、硫酸加爾謨 | 〇、二二六 |
| 一、硫酸麻偏涅更謨 | 〇、〇八〇 | 一、硫酸加爾謨 | 〇、〇三三 |
| 一、格魯兒那篤留謨 | 一、三〇五 | 一、格魯兒那篤留謨 | 〇、一二八 |
| 一、重炭酸加爾謨 | 〇、二五八 | 一、重炭酸那篤留謨 | 〇、〇三二 |
| 一、酸化及鐵礬土 | 〇、〇三五 | 一、硅 酸 | 〇、〇五二 |
| 一、遊離炭酸 | 〇、〇五五 | 一、有 機 物 | 〇、〇〇三 |
- 但し酸素消費量

以上の成績は「アルカリ」性食鹽泉に属す鐵泉なるものと是は明治三十九年十二月十二日區立札幌病院藥局長鈴木精四郎氏の檢定になりしものにして北海道廳は尙ほ左記の如き免許證を交付せり

俱知安村

免 許 證

北海道膽振國虻田郡俱知安村基線西五十六番地

膽振國虻田郡俱知安村字ニセコアンベツ湯ノ川官有地湧出

伊 藤 松 實

右鑛泉浴用服用ニ供スルコトヲ免許ス

明治四十年九月十一日

北 海 道 廳 印

●鑛泉醫治効用 札幌區立病院藥局長か定量分拆に係る鑛試檢成績に因れば亞爾加里性食鹽泉にして最も内服に適し胃液の分泌を促し食慾を振起せしめ腸の運動を催進して道利を宜しくし普通飲料としては大に清涼の功あるものとす而して其應用すへき諸病及浴内服の用法は左の如し。

●醫治効能 (一)消化不良、慢性胃加答兒、食思缺乏、胃壁弛緩、胃擴張 (二)慢性腸加答兒、常習便秘、腸管弛緩、下腸充血 (三)肝臟充血、黃疸 (四)脾臟腫脹、瘰癧、多血、肥胖病 (五)慢性氣管支加答兒、咽喉及喉加答兒、慢性肋膜炎 (六)子宮腫脹及子宮潰瘍子宮周圍蜂窠織、炎恢復後、腹膜炎後滲出物 (七)骨諸病、骨潰瘍、腐骨疽、句僕病類 (八)総テノ慢性滲出物、水脈腺腫、慢性子宮炎卵巢炎、攝護腺炎、乳腺炎 (九)乾癬、發汗過多、皮脂漏、慢性尋麻疹、急性發疹病ノ恢復期、翠皮病、鱗屑癬、腺病家及貧血家の惡液より來たる濕疹等に至効あり。

膽 振 要 覽

●用法 區立札幌病院長醫學士石原弘氏の指導に依れば左の如し

本鑛泉は清涼飲料として最も可なるものにして單味或は少許の砂糖を混して内用すへく其量は一回五十瓦乃至百瓦つゝ一日數回に用ひて可なり外浴法として本泉は湧出の際已に一定の溫度を有するを以て直ちに浴湯に供する事を得然かれとも攝氏四十度を越ゆへからず一日數回の人湯は妨げなしと雖とも空腹時及飽腹時を避け病症の重からざるもの及び疲勞夥大ならざるものに於ては入浴時間一回十五分間位を定度とせざるへからず云々

(明治三十九年十二月十五日)

上叙の如くにして公表せられなは必ず繁盛を見るは疑はざる所なりとす。

●丸ト印遠藤漸明堂藥店 俱知安六號線に店舗を設け藥種賣藥、和洋小間物、學校用品を販賣せるを以て店名能く小學兒童に迄知られり遠藤氏は島根縣八東郡に明治九年出産す而して二十九現村出雲農場の監督となり渡道せられ夫より第二學校の教師となり應て之れを辭し現業を経營せられたるものなり。

●赤暖簾湯川料理店 俱知安驛に於て赤のれん湯川料理店と云は、一人として知らぬものなし、さそば仕出し等は尤も有名なり店主湯川小三郎氏は函館湯の川の生れにして去る三十年現地に移轉して斯界を開始せしものにして開店以來能く十有幾年を経て益々料理の妙極を現はし巷間の好評實に驚くものあり朝夕繁盛言はん方なし。

●中央小樽栗川組運送店 中央小樽驛下に於ては運送店として見るべきもの實に其數多き

俱知安村

三百二十七

要 振 贈

も荷主の信用の厚き基礎の確實なる同店の如きは蓋し同業中の頭角なり小樽を知るものにして中央停車場前の栗山運送店を知らざるものなきは豈決して偶然にあらず海陸連絡に處して斯業を特發しつゝある盛況なり。

●中央小樽丸ウ印磯部運送店 函樽鐵道に於ける重要なる驛は即ち中央小樽驛にして海に滿艘の輻湊あり海陸の連絡恨憾なく本道唯一の貿易港なり然かも此驛下に於て有數有名なるは同運送店を基礎確實なるは定評の存する處敏活なる活動は以て貨物を保帶せしむる事なく荷主は安然として運送を托するを得るは同店に限る。

●栗山組運送店 俱知安驛に於て栗山組運送店は實に偉大なり札幌函及ひ各地に連絡を保つて廣く荷主の便益を計りて運送業を執りつゝあり斯業界としての花ならん栗山組なるものは本道に於ても手廣き運送業者なれば寄托荷主の如きは常に少なからざる便益を得つゝあり店は決して約を違ふる事なきは唯一の特長なり。

●北川運送店 俱知安驛に於ける一流の運送店なりとす店は頗る誠實熱心に寄托物貨を取扱ひ聊かの恨憾なく荷主は爲めに安然として之れに依るを得一庶同運送店に據りて運送を托してたるものは其取扱振の親切と敏活なるに一驚を喚せざるなく巷間常に好評噴々録々として斯界に冠たり以て卜するに難からず。

明治四十一年七月三日印刷
明治四十一年七月八日發行

定價五十錢



小樽花園町畑十番地

發行所 小樽圖書出版館

同

發行人 渡邊儀太郎

同

著作者 野澤嘉郎

同

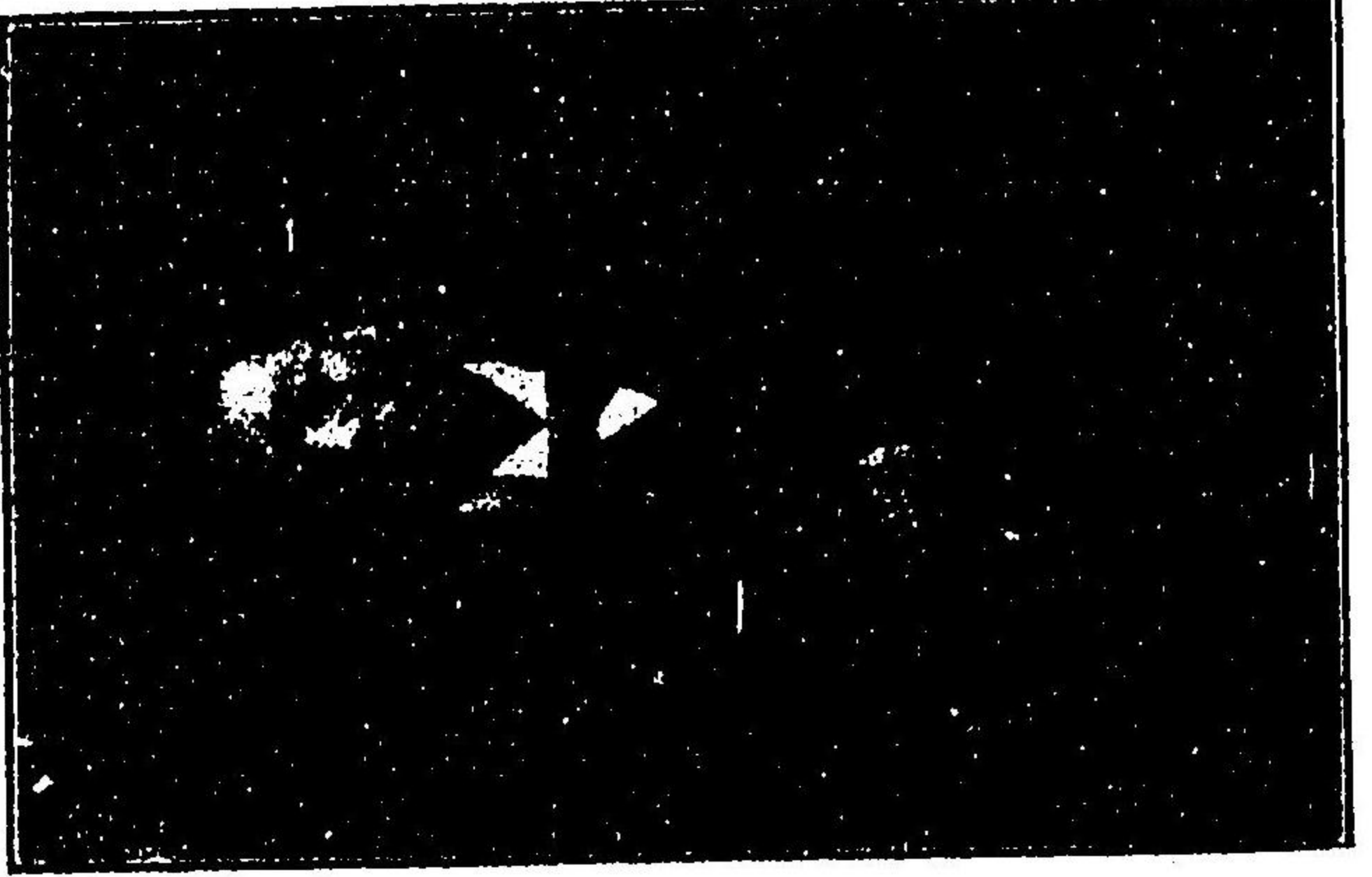
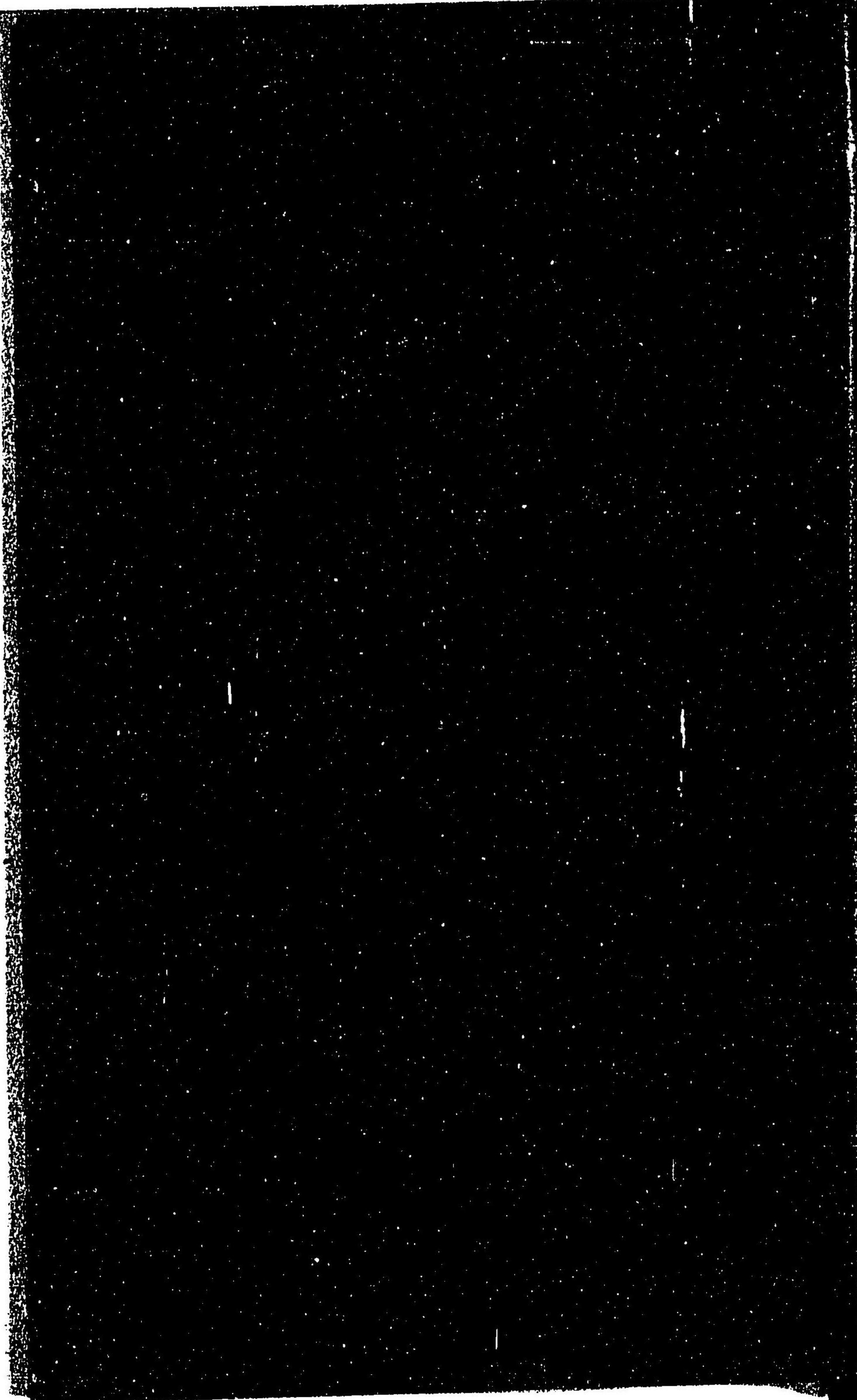
同 倉田喜橘

札幌區南一條西四丁目十五番地

印刷人 野澤小三郎

同

印刷所 於福堂活版部



橘嘉田倉

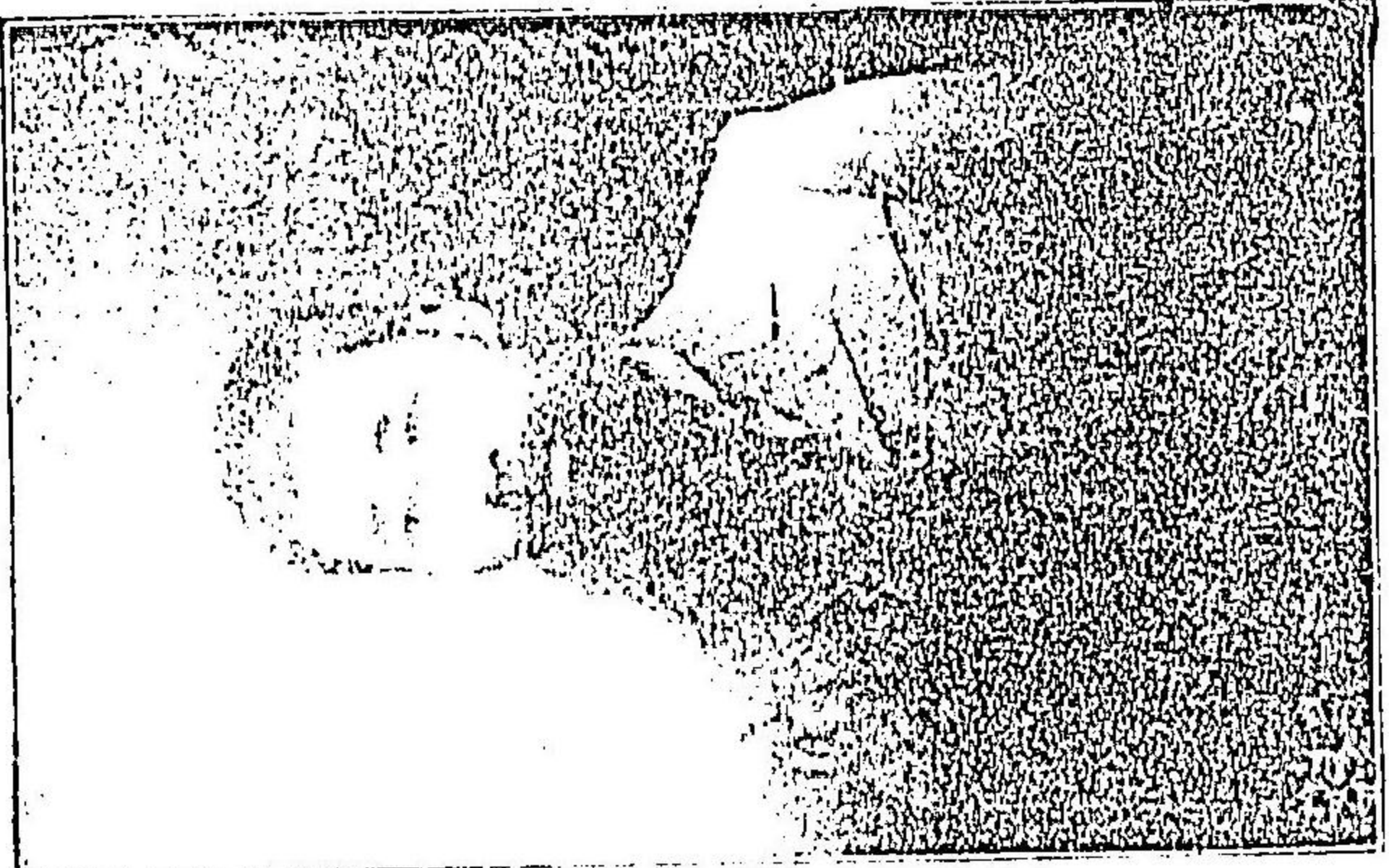


野澤善郎

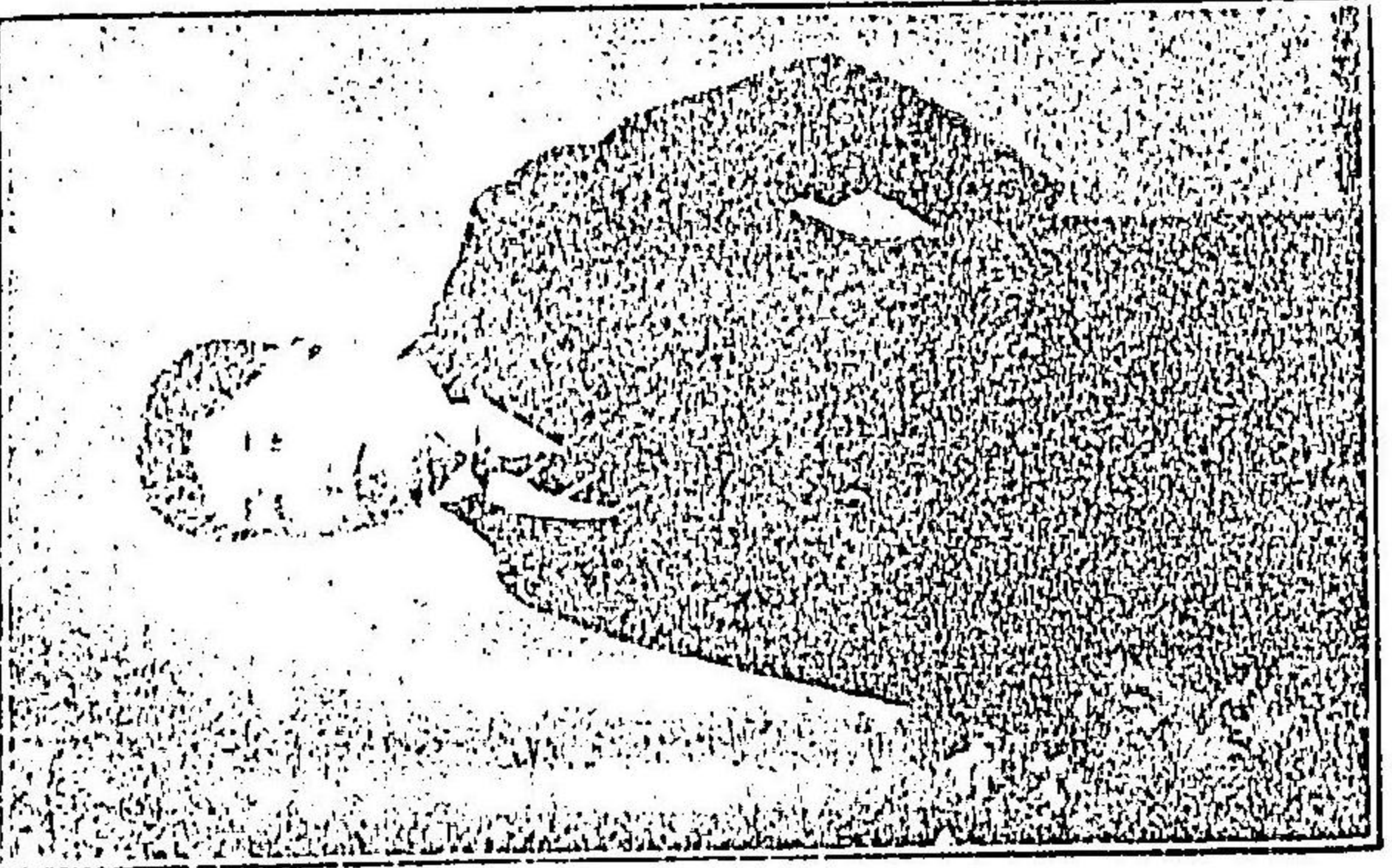


渡邊儀太郎

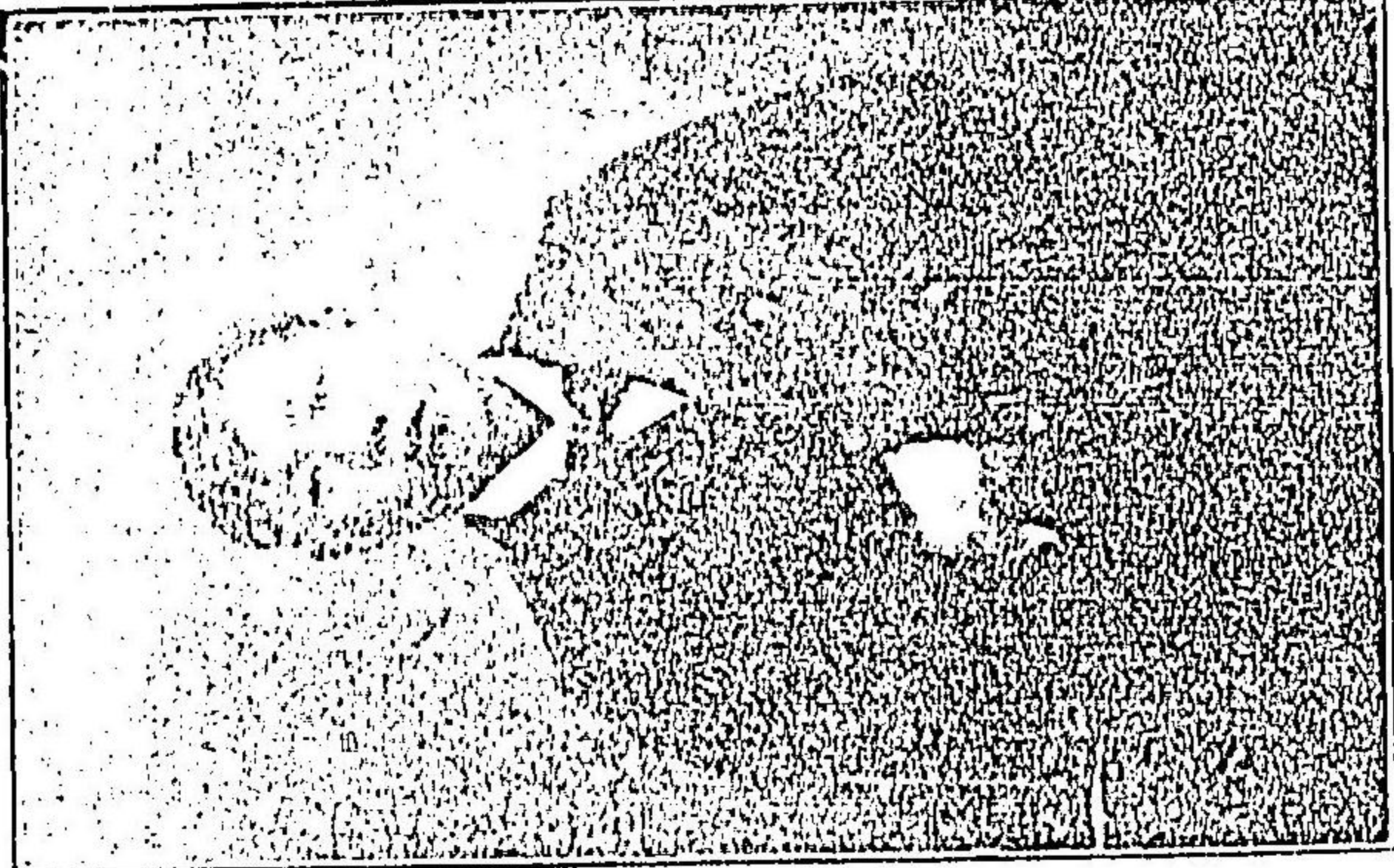
日本木材業
 早瀬吉松
 膽振國西紋隆
 林業
 大船



渡邊儀太郎



野澤善郎



倉田嘉橋

内外科

金子醫院

院長 金子親太郎
副院長 橋本文次郎
鶴川村

高野
百景
泉
遊元
松

★勇拂酒造株式会社

早來驛市街地

驛

相馬旅館

牧畜業 大嶋清

生牛馬豚卸販賣

黒鷲醫院

目黒三
退分市街地

和洋酒 罐頭 漬物
賣藥 書籍 化粧品
煙草 小間物 温泉
名産器具類 温泉
給湯 浴槽 日用品

田村芳造商店

登別温泉場市街地

旅館

登別温泉場市街地

29805

登別温泉名物ナリ
大コマンジエ、ンルコ

廣瀬 慎平

登別温泉場市街地

車屋 天頭旅館

登別温泉場市街地

登別温泉場行産 挽物寄木細工

和洋酒 鋪詰 呉服 太物 化粧品

浴客日用品 其他萬雜貨 炭物

登別温泉風景寫真販賣所

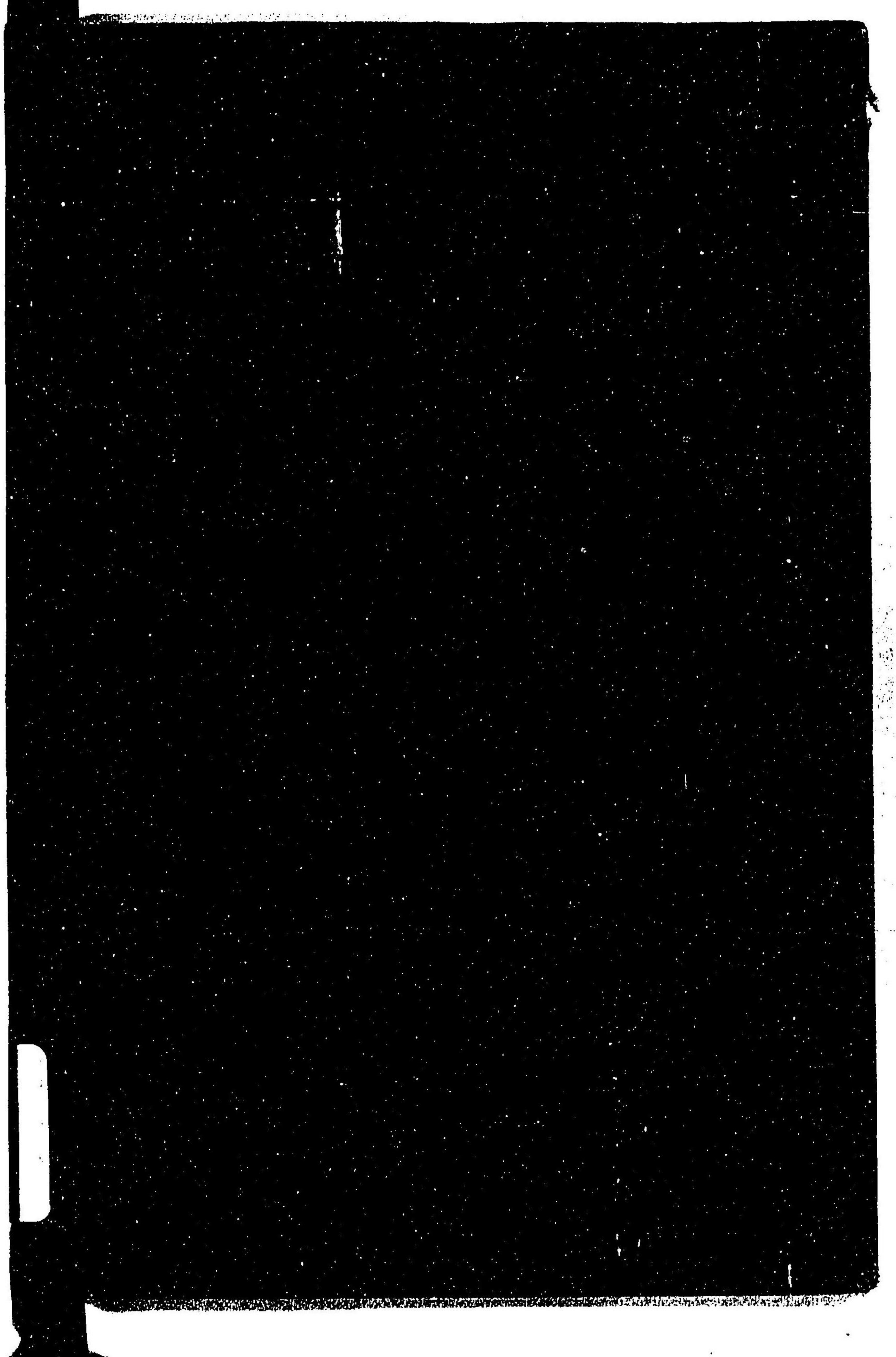
志立 屋敷 商店

玉川商店

登別温泉場市街地

31

541



023168-000-0

31-541

胆振要覽

野沢 嘉郎

倉田 喜橘 / 著

M41

ADC-0005



